

犬や猫からも感染する

SFTS

に注意しましょう！

※ 重症熱性血小板減少症(SFTS):人、動物に重篤な症状を引き起こすダニ媒介性ウイルス感染症

ペットの飼い主さんへ

動物愛護団体、ボランティアさんへ

日常的にペットと触れ合う皆さんへ

- マダニが媒介する **SFTS ウイルス** は ペットにも人にも感染します(人獣共通感染症)。
- 人がマダニに刺される以外にも SFTS を発症したペットの体液などを介して人に感染し、死に至ることがあります。

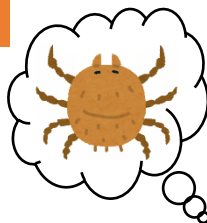
猫は室内で
飼いましょう

過剰なふれあいをさけ、
動物とふれあった後は
手洗いする



定期的に
マダニ駆虫薬を
※詳しくは裏面へ

マダニに咬まれた後
に具合が悪くなった
らすぐ動物病院へ！



※症状…元気がない、食欲低下、発熱(39℃以上)、下痢、嘔吐

飼い主さんも、ペットが
SFTS と診断された後
具合が悪くなった
らすぐ病院へ！



詳しくはこちらから

●福岡県 HP
マダニによる人獣共通感染症
に注意しましょう



●厚生労働省 HP
ダニ媒介感染症



福岡県
Fukuoka Prefecture

SFTS ウイルスとは？



SFTS ウイルスはマダニの吸血によってヒトや動物に伝播するアルボ(節足動物媒介)ウイルスです。

ウイルスを媒介するダニは、固い外皮に覆われた比較的大型(種類にもよりますが、成ダニでは、吸血前で3～8mm、吸血後は10～20mm程度)のダニで、主に森林や草地に生息していますが、郊外、市街地でも生息しています。

どうやって感染するの？

マダニに刺されること以外にも、感染動物(犬、猫などのペット)の口腔、目やに、糞便、尿中などにウイルスが含まれているため、ペットなどとの濃厚接触によっても感染する可能性があります。実際に、猫に咬まれたことが原因で人が SFTS ウイルスに感染した事例が報告されています。ただし、健康な猫や犬、屋内のみで飼育されている猫や犬から人が SFTS ウイルスに感染した事例はこれまでに報告されていません。

犬猫の飼い主さんへ

うちの子は大丈夫かな？と思ったら



マダニ対策をしていますか？



はい

いいえ

予防薬の定期投与をしてください

マダニ予防薬の使用を検討してください(獣医師相談)



散歩などの外出時



森林・草むらに入る前



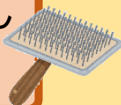
帰宅後



マダニ忌避剤の使用を検討してください(獣医師相談)



全身の目視チェックとブラッシングをしてください



犬猫の体表にマダニを見つけましたか？



はい

いいえ

無理に引き抜かず、速やかに動物病院を受診し、動物病院でマダニ除去と診察を受けてください



以降、体調の変化に注意してください

日常的な健康チェック

犬猫の体調に変化はありますか？

はい



SFTS の可能性がある症状(元気がない、食欲低下、発熱、下痢、嘔吐)ですか？

はい

速やかに動物病院を受診してください

【ペットへの感染に関すること】
福岡県保健医療介護部生活衛生課
乳肉衛生係 TEL:092-643-3282

【人への感染に関すること】
福岡県がん感染症疾病対策課
感染症対策係 TEL:092-643-3597

